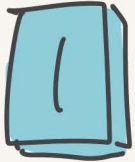


# 日本の基礎科学：今後の30年

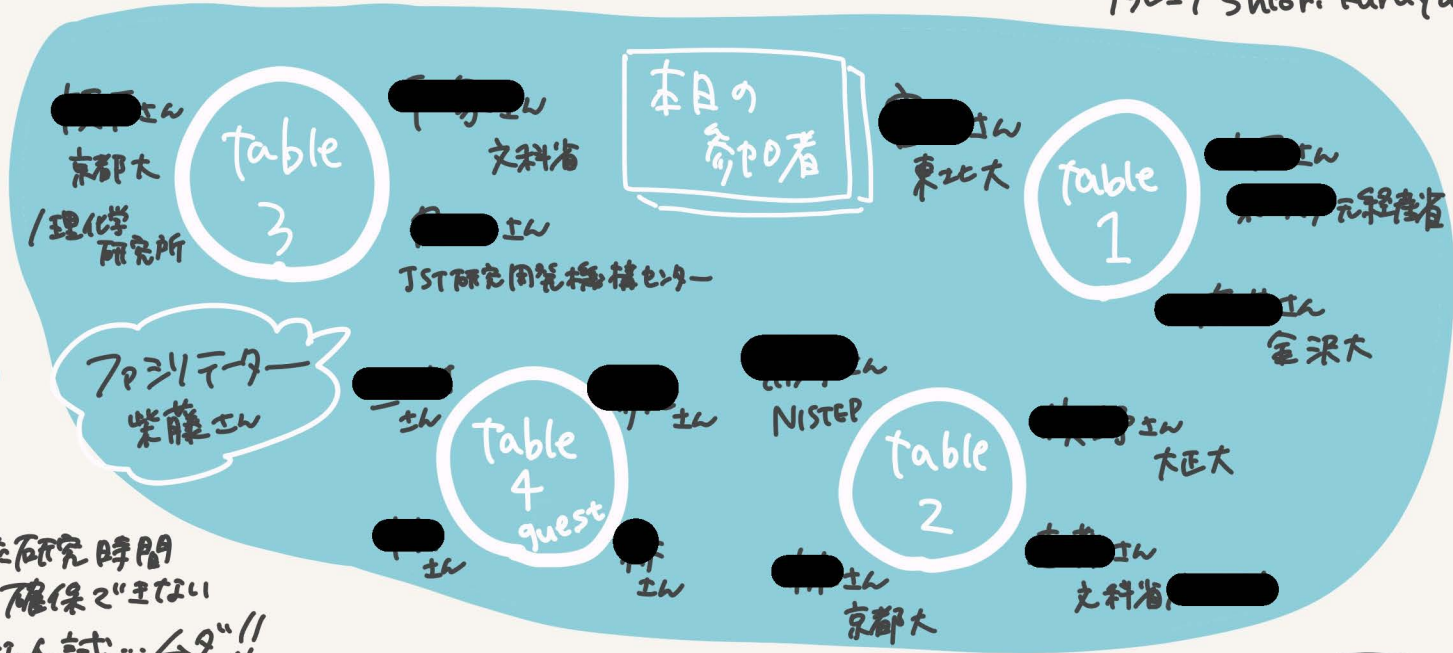
第1回 / 異業種異分野交流会  
2023.2.23 (木)

7/21/ Shiori Furuya

異業種 / 異分野の  
プラットフォーム!!  
基礎科学の未来について  
ディスカッション



## 基礎科学の現状と課題



### ④ 研究時間

時間配りが切れない  
仕事の数が多すぎる

残った研究時間  
確保できない  
多様な人試...ムダ!!  
教員に権限がある = 仕事増える  
専任の仕事と分ける必要がある

海外では...?  
責任

有期雇用不安

### ⑤ 人材

博士に進学する学生減っている  
研究者にたいしても、キャリアパス不透明

1年ごとの契約  
ポジションごとの大変さ  
シフトがらみ

女性教員からの  
負担がある

女性を0人入れたら!!  
という意気込み  
学生や、若手が見える

その他  
予算どりのやり方  
自由度ある方  
FEI

### ⑥ 研究資金

コマ切りに資金とらないと  
重くお世直し!!  
来たところしか使えない

予算どりのやり方  
自由度ある方  
FEI

政府の予算: 5年きざし

# 行政と研究者のコミュニケーション



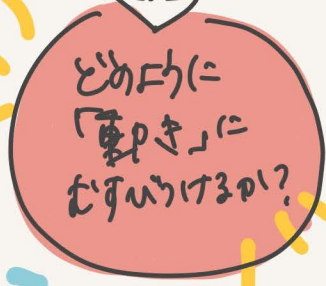
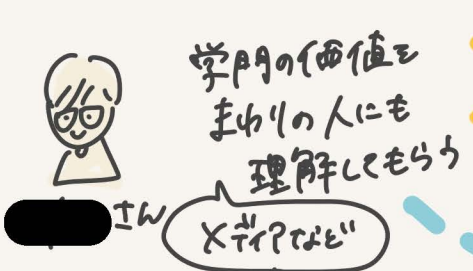
部署によらずには、研究者との関わりはゼロ!

行政の工場の下のレイヤーで物事は決まる...  
政治家と話すのが必要かあるのでは?



## 2 基礎科学の価値とは?

短期的には役に立たなくても 長期的には役に立つ  
役に立たなくても、文化的、それ自体に価値ある



## 3

### 5年後の基礎科学



政党を選ぶときに「科学技術」が選ばれるにたい!!

研究のお金 (\$) \$

日本  
企業財団に対する助成が多い

アメリカ  
寄付、助成、研究は大切!! という認識

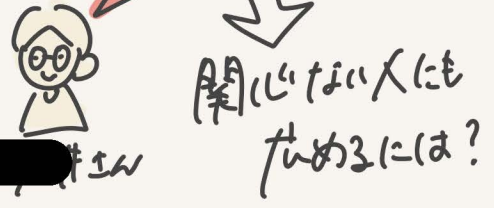
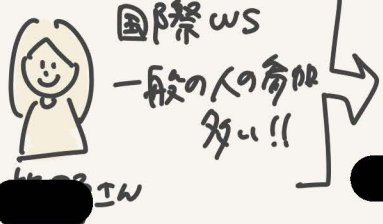
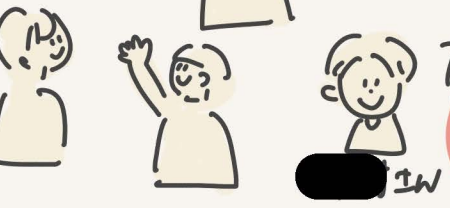
「ショッピングモール」と「まんじゅう」の「パブリック」にふれることによる機会

研究者と市民が顔を合わせる機会!

日本の大学

ずっと続いてきた「17」なやり方

「しき」をもう一度つくる必要がある



会議



# 4 30年後の理想の大学を考えよう!!

## Table 2

大学とは...  
『考える』という行為をする場



将来的に  
同じこの価値になる!!  
財源は100%国から!  
/ 石井先生の発言

教員にできること  
テキストやリソースに  
アクセスできるように  
作る!!

自分から大切にしたいこと  
に出会える場所!!  
おもしろい!!

## Table 1

オンラインをベースに + 専門性は  
各大学で!!  
リアルでないと  
できないこと

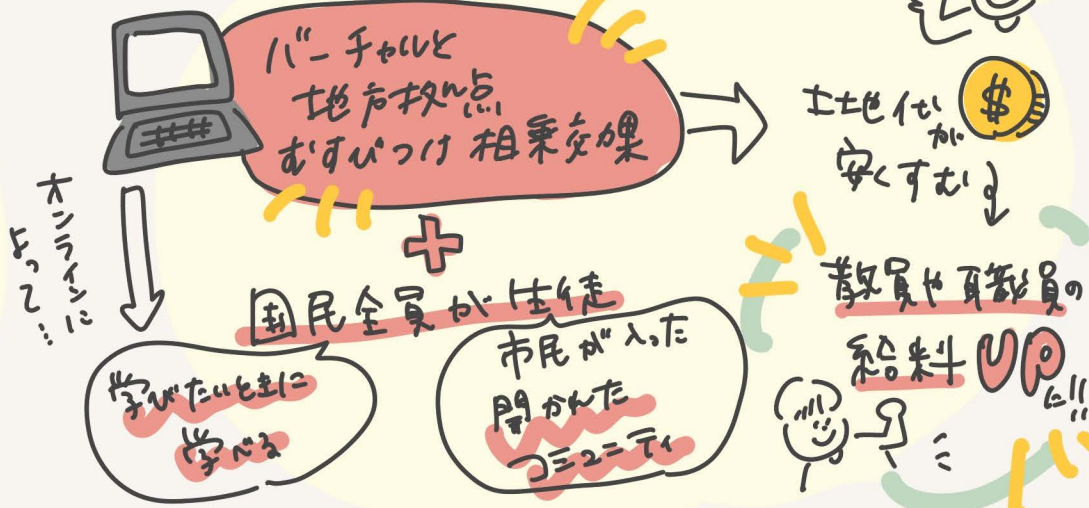


今必要は学心が  
今できる!  
良いものはオンラインで共有し、  
ムダなものは省く!



教員の知を  
共有せよう  
ノウハウの共有は  
大学に!!

## Table 3 シン・ニホン大学



## Table 4

大学の『広報』  
大学の中で  
固定の広報担当者

